

OBM マンスリー

2012.3月号 Vol.143

2012年3月25日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F

TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145

Eメール info@obm.or.jp

ホームページ www.obm.or.jp

下村興安名誉相談役へのお別れの言葉

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

名誉会長 梶山高志



下村興安名誉相談役

大阪ビルメンテナンス協会名誉相談役下村興安氏が去る2月1日に逝去されました。下村氏には、大阪ビルメンテナンス協会の大先輩として40有余年にわたりご指導を賜りました。ここに生前の公私にわたるご厚誼に対し、改めて深く感謝申し上げますとともに、謹んで哀悼の意を表したいと存じます。

故人は、大変な理論家であるとともに、全体を見抜き対処する卓越した決断力と指導力をお持ちでございました。また、お人柄温厚であり、リーダーとしての資質を潤沢にお持ちの方でございました。

こうした下村氏の指導者としての力量は、万人の認めるところであり、長年にわたり、大阪ビルメンテナンス協会会長、全国ビルメンテナンス協会副会長、財団法人建築物管理訓練センター理事、財団法人ビル管理教育センター理事、社団法人関西環境開発センター理事長の重責を担い、ビルメンテナンス業界の育成、発展に多大の貢献をなされました。

大阪ビルメンテナンス協会においては、当時の龍田会長の急逝に伴い、平成5年12月に会長に就任され、平成13年3月に退任されるまでの間、7年4カ月の長きにわたりビルメンテナンス業界の抱える多くの課題の解決に向けて、その重責を果たされました。特に、労働安全・衛生大会の充実、強化等を通じて、従事者の安全意識の高揚を図り、労働災害の未然防止について力を注がれました。会長職を辞されてからは、名誉相談役として協会の運営について、大所・高所から貴重なご意見、ご助言を賜ってきたところでございます。

全国ビルメンテナンス協会においては、昭和58年に理事に選任され、平成7年7月から平成11年7月までの4年間、副会長の重責を担われました。この間、時代の変遷に対応し、ビルメンテナンス業界の地位の向上、発展に尽くされ、業界の地位の向上を目指した「ビルメンヒューマンフェア」においては、近畿地区の会員の参加を促すとともに、事業の推進に精力的に当たられ、行事を成功に導かれました。更に、広報調査委員会、経営研究委員会、建物衛生管理委員会、設備・保全委員会の担

当副会長を歴任され、ビルメンテナンス業界の経営体質の改善等に多大の貢献をされました。

財団法人建築物管理訓練センターにおいては、昭和62年から平成11年8月までの間、役員・理事として、高度技能者の育成のための能力開発事業を積極的に推し進められ、教務委員会委員として、第1回全国ビルクリーニング技能競技会の開催に向けて尽力されました。

社団法人関西環境開発センターにおいては、平成3年に理事に、平成7年に理事長に就任し、ビルメンテナンスに係る教育訓練機関としての充実に尽力されました。多様なニーズに応じた研修訓練を実施するとともに、企業内訓練用のテキスト、手引き、視聴覚教材の作成・充実、季刊誌「ビル管理の研究と開発」を刊行するなど、業界の発展を担う人材の育成に貢献されました。

こうしたご功績に対し、国は高く評価され、平成5年1月21日には「厚生大臣表彰」、平成10年11月3日に「藍綬褒章」、平成17年秋には「旭日小綬章」を受章されました。これは、私どもビルメンテナンス業界一同にとっても大変名誉なことではございました。

さらに社業におかれても“KTO:Kindness(親切)・Trust(誠実)・Obligation(責任)”の精神を基本に、昭和12年に創業されて以来70有余年にわたり積み重ねてこられた実績は誠に尊敬すべきものであると常日頃感じ入っておりました。

故下村氏とは、公私にわたりご厚誼いただいた次第ですが、特に、ゴルフが大変お上手で、サウスポーのフォームが大変おきれいであったことを鮮明に覚えております。

私ども大阪ビルメンテナンス協会の役職員一同は、下村名誉相談役のお教えを守り、業界の発展に一層の努力をしまいる所存でございますので、どうぞ安らかにお眠りください。心からのご冥福をお祈りしてお別れの言葉といたします。

合掌

故人の足跡

昭和54年4月2日～平成3年4月4日
社団法人大阪ビルメンテナンス協会理事
平成3年4月5日～平成5年12月9日
社団法人大阪ビルメンテナンス協会副会長
平成5年12月10日～平成13年3月31日
社団法人大阪ビルメンテナンス協会会長
平成13年4月1日
社団法人大阪ビルメンテナンス協会名誉相談役
昭和58年7月27日～平成7年7月19日
社団法人全国ビルメンテナンス協会理事
平成7年7月20日～平成11年7月26日
社団法人全国ビルメンテナンス協会副会長
昭和62年8月19日～平成元年7月27日
平成5年7月21日～平成11年8月20日
財団法人建築物管理訓練センター理事

平成9年8月13日～平成11年9月8日
財団法人ビル管理教育センター理事
平成3年5月28日～平成5年5月26日
平成6年5月25日～平成7年5月26日
平成11年5月28日～平成13年5月25日
社団法人関西環境開発センター理事
平成7年5月26日～平成11年5月27日
社団法人関西環境開発センター理事長
平成13年5月25日～現在
社団法人関西環境開発センター顧問
平成3年11月27日 大阪府知事表彰(建築物環境衛生功労)
平成5年1月21日 厚生大臣表彰(建築物環境衛生功労)
平成10年11月3日 藍綬褒章受章
平成17年11月3日 旭日小綬章受章

スームアップ



子供によるライター火遊び事故の防止について

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)の集計によれば、平成16年から20年の5年間で、ライターに起因する火災事故は、残火、意図しない着火等を含め132件の製品事故が報告されています。また、東京都によれば、東京消防庁管内において、平成11年から20年の10年間に、12歳以下の子供のライターを使用した火遊びによる火災が500件余り発生しているとしています。

欧米では、子供がライターを簡単に使えないようチャイルドレジスタンス機能に関する安全規制が既に導入されていますが、我が国においても、平成22年12月27日に消費生活用製品安全法関係の改正法令が施行され、いわゆる使い捨てライターや多目的ライターの販売規制が開始されました。経過措置終了後の平成23年

9月27日以降はPSCマークを表示したライター以外は、販売することができなくなりました。PSCマークとは、消費者の生命・身体に対して特に危害を及ぼすおそれが多い製品について、国の定めた技術上の基準に適合した旨を示すものであり、マークのない製品が市中に回収された時は、国は製造事業者等に回収等の措置を命ずることができます。

これらの規制対象品目は、自己確認が義務づけられている特定製品との中でさらに第三者機関の検査が義務づけられている特別特定製品があり、ライターは後者に含まれ、対象となるのはたばこ以外のものに点火する器具を含み、燃料の容器と構造上一体となっているものであって当該容器の全部又は一部にプラスチックを用いた家庭用のものに限定されています。

これにより規制対象ライターは、点火スイッチが重くなったり、点火操作が複雑になったりと、従来よりも火がつけにくいものになり、使いにくくはなりまし

たが、火災予防上より安全になりました。

しかし、子供のライター火遊び事故を防止するためには、このような販売規制とともに、ライターを子供の手の届くところに置かない等、大人がライターの保管に十分に気をつけることが、いちばんの事故防止策ではないでしょうか。また、火遊びの危険性を家庭や学校、地域社会において、しっかりと子供たちに教えることも重要ですし、不要なライターは各自治体のルールに従って正しく廃棄し、間違っても通学路や公園など子供のいる公共の場所で、ライターを投棄しないことも大切です。

子供は、すぐに大人の真似をしたがります。大人が使うライターや火そのものに興味を持ち、ライターを使って子供だけで火遊びをすることがあります。子供を危険な目に遭わせないためには、子供がライターで火遊びをしているのを見かけたら、周りの大人たち社会全体で注意することが必要ではないでしょうか。

(広報委員会 水谷 篤)

23年度 第12回 理事会

3月2日(金) 協会会議室

1. 報告事項

①第11回理事会決定事項

2. 審議事項

①会員の入会について/承認
・株式会社ワイテック
②定款改正案について/承認

3. 報告事項

①委員会・部会報告

②平成23年度事業報告について

4. その他

①50周年記念行事について
②今後の日程について
③平成24年度事業計画・予算について
④平成23年度事業報告について

委員会・部会

経営委員会

2月8日(水) 出席者12名 協会会議室

- エコアクション21関連のアンケートにつき結果分析を行った(内容は4ページ掲載)。
- ビルディング協会との合同委員会のテーマを検討した。
- 来期の事業報告・事業計画について

青年部分科会

2月22日(水) 出席者4名 協会会議室

- 勉強会の開催
①ビルメンテナンス業界の関連企業・床材メーカー・東りの床材の技術部門との意見交換会を開催予定

広報委員会

2月17日(金) 出席者10名 協会展示室

- 「OBMマンスリー」2月号の編集作業を行った。
- ビルメン子ども絵画コンクールの当協会における作品展示について日程等を検討した。

総務友好委員会

2月17日(金) 出席者10名

新大阪イーグルボウル
第19回OBMボウリング大会

参加チーム 23チーム 92名
(男性72名、女性20名)
結果については3ページに掲載。

賛助会世話人会

2月15日(水) 出席者8名 協会会議室

- 大阪ビルメンテナンス協会50周年展示会について
- 3月6日(火)開催の次回ミニ展示会・講習会内容の確認
- 次期世話人会のメンバー選考について

公益・契約事業委員会

2月15日(水) 出席者8名 協会会議室

- 分科会活動について
①大阪府立中之島図書館でのインスペクション実施について
- 障がい者就業ステップアップ事業について
次年度の障がい者就業ステップアップ事業応募についての検討
・今年度はじめてみて、事業を受けられた障がい者全員に受入先企業が確保できなかった。実際に福祉作業所を離れ意欲を持って来られている方々に対し、申し訳なかった。次年度はJ.Vという形ではなく積極的な協力というところで参加する。
・大阪市のステップアップ事業に加え、豊中市、吹田市、堺市等、各自治体との協力依頼が集中していて、障がい者雇用に関心な偏った企業や、理事会社、公益・

契約事業委員の会社に負担が偏り過ぎている。

- 平成24年度事業計画書について
- 平成24年度予算について
- 大阪ビルメンテナンス協会50周年記念式典について

労務委員会

2月20日(月) 出席者13名 協会会議室

- 平成24年6月から全国協会が労働災害報告を求めるにあたり、当協会分報告書式を全国協会分とあわせることを検討した。
- 転倒、墜落・転落事故防止運動について
24年度にキャンペーンをするので本年度中にリーフレット、ポスターを作成する。
- 6月22日(金)安全大会の特別講演について検討した。
- 1月分労働災害報告
会員225社中70社提出(提出率31%)
業務災害 6件 通勤災害 0件

ビルクリーニング部会

2月21日(火) 出席者22名 協会会議室

- 平成24年度ビルクリーニング部会活動計画を検討した。
- 平成23年度ビルクリーニング部会活動報告会の運営を検討した。
・日時:平成24年3月26日(月)15時~17時(6F会議室)
- A班・B班 活動報告
①A班 報告
「(仮称)免許皆伝ビルクリーニング必読書新版」作成の進捗報告。
②B班 報告
「(仮称)床材別のトラブル事例と対処法」作成の進捗報告。

警備防災部会

2月14日(火) 出席者15名 協会会議室

- 警備員指導教育責任者研修会について
①開催日 平成24年3月13日(火)
14時~16時
②場 所 一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会6階会議室
③講 師 釘宮専門委員
④研修内容

- ・平成23年11月25日開催の全体集会結果報告及び質問事項に対する回答
 - ・指導教育責任者の業務手引きの配布
 - ・警備業務実施にかかわる法の具体的あり方の解説
 - ・認定証更新に関すること
3. 一般社団法人関西環境開発センターが実施予定の警備員現任教育について説明をうけた。

設備保全部会

2月22日(水) 出席者19名 協会会議室
設備保全部会第10回委員会
 各小委員会活動報告
 (研修・見学会)

- ・ヤンマーディーゼル尼崎工場見学(2月23日(木))について
参加者及びスケジュール確認を行う。
(設備保全業務研究)
- ・SLA、KPIについて今後の取り組み

について
 熱心に取り組んでいるオーナー企業があり、アクセスの可否を調査中
 (環境衛生業務研究)

- ・屋上緑化に関わる行政、法律、補助金の調査及び省エネ、温暖化については冊子発行を考えている。
- ・フリースタイルガーデニング提唱の高田氏を講師に迎えて講演会の企画を考えている。

事務局からのお知らせ

- 平成24年度 大阪協会主催の研修会のお知らせ
従事者研修等の日程が決まりました。
- ・防除作業従事者研修
平成24年6月21日(木)
- ・貯水槽清掃作業従事者研修
平成24年8月30日(木)
- ・清掃作業従事者研修

平成24年9月27日(木)
 以上 会場は(一社)大阪ビルメンテナンス協会研修室
 ・清掃作業従事者研修指導者講習(新規・再)
 平成25年2月21日(木)
 以上 会場は大阪科学技術センター
 ※研修会のご案内は、各開催日の1ヶ月前を予定しています。

会員だより

●入会
 [正会員]
 ・株式会社ワイテック
 〒591-8003
 堺市北区船堂町2-3-18
 TEL 072-250-7796
 FAX 072-257-7710
 代表取締役 山崎 満様
 (平成24年3月2日より)

講習会のお知らせ

◆近畿地区本部だより

- 平成24年度 ビル設備管理(1・2級)技能検定のご案内
 ・受付期間 4月2日(月)～4月16日(月)
 ・実技試験(問題公表)
 6月15日(金)
 ・実技試験(実施期間)
 7月3日(火)～8月10日(金)
 ・実技ペーパーテスト・学科試験
 8月5日(日)
 ・合格発表 10月31日(水)
 ※受検案内は送達文書でお送りしています。受検申請書をご希望の方は、大阪協会事務局までご連絡いただくか、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会アビリティセンター(<http://study.j-bma.or.jp>)でダウンロードもしくはネット申請もできます。
- 第19回世界ビルメンテナンス大会inブラジル ～お知らせ～
 ・開催期間 10月10日(水)～13日(土)
 ※日時は現地時間
 ・場所 ブラジル・クリチーバ市
 ・予定 10月10日(水)20:00～
 オープニングセレモニー
 10月11日(木)～13日(土)
 各種セミナー・講演
 10月13日(土)17:00～
 閉会セレモニー
 ※詳しい大会の参加方法については、後

日ご案内いたします。

●第42回実態調査結果まとまる

全国協会が毎年行っている実態調査のH23年度(第42回)の調査結果がまとまりました。
 本調査の報告は、2月下旬発行の『ビルメンテナンス情報年間2012』に掲載され、回答していただいた会員企業様に4月中旬頃送達文書にてお送りする予定です。既に販売を開始しておりますので、追加分のご希望や、回答いただけなかった会員企業様も有償にてお求め頂けます。(公社)全国ビルメンテナンス協会のホームページ(<http://www.j-bma.or.jp>)からお申し込み下さい。IDとパスワードは(公社)全国ビルメンテナンス協会にお問合せ下さい。

- ・調査実施概要
 第42回調査は、昨年6月22日から8月19日の期間に実施、会員企業2,863社(本社2,460社、支社・営業所403社)を対象に調査票を配布、回答数は、本社が1,128社(回収率45.9%)、支社・営業所が204社(同50.6%)で、合計1,332社(同46.5%)となりました。回収率は前回調査(44.3%)を上回りました。

◆訓練センターだより

- 平成24年度ビル設備管理技能検定受検準備講習のご案内
 ・受付期間 4月16日(月)～5月15日(火)
 ・受講資格 平成24年度1級または2級

ビル設備管理技能検定の受検申請手続きを済ませた方で、事業主から推薦を受けた方。※受講案内をご希望の方は、事務局までご連絡いただくか、(財)建築物管理訓練センターのホームページからダウンロードして下さい。

◆(財)ビル管理教育センター

- 防除作業監督者(再)
 平成24年5月15日(火)～16日(水)
 平成24年5月17日(木)～18日(金)
 於 阪急千里中央ビル
 受付 平成24年3月22日(木)～28日(水)
- 防除作業監督者(新)
 平成24年5月21日(月)～25日(金)
 於 阪急千里中央ビル
 受付 平成24年3月28日(水)～4月3日(火)
- 空気環境測定実施者(新)
 平成24年5月28日(月)～6月1日(金)
 於 阪急千里中央ビル
 受付 平成24年4月4日(水)～10日(火)
- 建築物環境衛生管理技術者
 平成24年6月4日(月)～21日(木)
 於 阪急千里中央ビル
 受付 平成24年4月4日(水)～10日(火)

※平成21年度より(財)ビル管理教育センターへ直接、用紙の請求・申し込みをしていただくことになりました。申し込み期間に提出できるよう、早めに申込用紙を請求してください。(TEL 06-6836-6605)

第19回 OBMボウリング大会結果

(24.2.17 於 新大阪イーグルボウル)

団体順位	
1	東洋ビルメンテナンス(株)
2	近鉄ビルサービス(株)
3	(株)ジェイアール西日本メンテック
4	大代興業(株)
5	大都美装(株)
6	興産管理サービス・西日本(株)
7	朝日建物管理(株)
8	(株)タイヨーP. U. S.
9	商船三井興産(株)
10	関西明装(株)
11	(株)下村工務店
12	(株)ビケンテクノ
13	大成(株) 大阪支店
14	(株)ケントク Bチーム
15	(株)阪和
16	(株)サンクリエイト
17	太平ビルサービス大阪(株)
18	美素建物管理(株)
19	信栄ビルサービス(株)
20	OBM事務局
21	装栄(株)
22	(株)ケントク Aチーム
23	(株)榮光社

男子個人順位	女子個人順位
阪本尚也 (東洋ビルメンテナンス(株))	竹内あすか (株)ジェイアール西日本メンテック
平松英文 (興産管理サービス・西日本(株))	大岩和美 (株)ケントク
木口智弘 (東洋ビルメンテナンス(株))	船本礼子 (大成(株)大阪支店)



大地震・巨大津波そして… —あれから1年—

監事 伊勢本吉生

3月11日、東日本大地震が発生して1年が過ぎた。メディアの震災報道がなかった日がないこの1年間であった。平成20年「岩手宮城内陸地震(M7.2)から約4年後であり、「阪神淡路大震災(M7.3死者行方不明6,437人)」より17年後の大地震だ。

死者行方不明者2万458人に及ぶ犠牲者を出し、未だに3,000人以上行方不明がおられるM9.0の未曾有大災害である。

地震研究学者では「東北の地震発生状態(1994年M7.6、2003年M7.0、2005年M7.2)から鑑み近年大地震が生じ津波もある」と警鐘した方もおられ、また文科省地震調査研究本部も「M8クラスの地震が三陸沖～房総沖でおきるであろう」と2002年に発表している。だが20mを超す(最高位)巨大津波を予測された人はいないようだ。

116年前の「明治三陸大地震(1896年)」では、約2万2000人(21,959人)の死者行方不明者が生じM8.5の記録があるが…。津波被害が主因で通称「明治の三陸大津波」とも言われている。津波の高さの記録はないが、土地の住民は「神社鳥居のあの高さまで来た」とか「丘のあたりの高さまで来た」と語り継がれている。

安政の「紀州大津波」は、庄屋「浜口五兵衛」の機転で「稲村に火を付け、村人を注視させて避難誘導」を行い犠牲者

はなし。小学校、国民学校の教科書にも記載され、年輩の方は憶えておられるであろう。ちなみに小生は国民学校5年だった。

津波の言葉は「小泉八雲」の日本を紹介する随筆集で、「TUNAMI」と表現したのがヨーロッパ中に広がり、現在は地球語として地球発生津波報道に発表している。

地震被害も超巨大だ。東北3県だけでなく茨城県、埼玉県にも及び、今まだ三陸鉄道は部分運行。土地の人は復旧を待ち望んでいる。また地盤沈下も1m以上したところもある。戊辰戦争激戦地で有名な白河小峰城石垣(構造美で有名)も崩れ、復旧するのに5年かかると言う。昔は「地震、雷、火事、親父」が恐さの代表であったが、現代は「地震、巨津波、火事、交通」だと認ずる次第だ。

本年2月、政府復興庁も遅まきながら設立した。昨年後半には大手企業工場ならびに中小企業工場も徐々に復興し、生産活動が始動したニュースもあり、明るさが蘇ってきた。仙台は復興事業の活況で、外車購入も大量発生しているようだ。反面、原発被害地は瓦礫の山で避難所居住しているお気の毒な方も大勢いる。東電への損害賠償申立は、1,124件あるがまだ増える傾向らしい。

未曾有大地震ですが東日本の皆様、復興に「ガンバって下さい」とエールをお贈りする。

末記になりましたが災害で亡くなられたお方、そして行方不明のお方に「黙祈」を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

—黙祈—

経営委員会アンケート調査報告

平成24年1月中旬、『ISO取得状況とE A21グリーン化プログラム参加意志について』と題して、平成23年11月15日行われました講演会での演目に伴うアンケート調査を実施致しました。

目的としましては、アンケート調査を行い、会員企業のエコアクション21への関心、ISOなど公的認証取得状況の確認、今後、公的認証を取得の意志が有るか等の実態確認という性質のものでした。

アンケート内容は下記の通りです。

1. 貴社のISO取得状況について
2. 公的な認証を取得する意志
3. エコアクション21の認知度確認
4. エコアクション21グリーン化プログラムへの興味
5. 大阪ビルメンテナンス協会に対しての要望、ご相談等の確認

回答数(正会員225社中56社)(賛助会員40社中9社)、以下、回答結果となりました。

- 設問1. 貴社のISO取得状況について
9001の取得(10社) 14001の取得(10社) 両方の取得(30社)
- 設問2. 公的認証の取得意志
取得したい(15社) 取得したいが、現在考えていない(12社) 取得しない(25社)
理由(取得したいが現在考えていない)
・E A21に対する理解をしていないため ・取得したいが、人員、経費負担の問題 etc
- 設問3. エコアクション21の認知
内容も理解している(25社) 聞いたことがある(34社) 知らない(7社)
- 設問4. エコアクション21グリーン化プログラムへの興味
興味があり参加したい(9社) 興味があるが参加意志はない(36社) 興味がない(16社)
- 設問5. OBMに対する意見
・人材育成、技術講習等の講習費用の見直し(価格低減)
・関連資格一覧(講習内容、価格等)を知らせてほしい。
・知的障害者雇用について初心者向け講習案内や、分かりやすい講習などの検討をしてほしい。
・インシュリン注射針による労働災害について、医療機関への働きかけを行って欲しい。
・法的な問題についての研修会、セミナーを開催してほしい。

経営委員会では、公的認証取得に関する会員企業から潜在的ニーズを確認でき、エコアクション21構築スクール(認証取得のための無料講習)開催のための説明会の開催。並びに、費用、効果などISO14001との対比表等で簡易な案内文を作成し、会員企業に取り組みに対する理解を深めて頂く事としました。構築スクール等は、24年度の事業として始動致します。以上

OBM行事予定

3月	25	日	
	26	月	ビルクリーニング部会全体会議
	27	火	設備保全部会 KKCカーペットメンテナンス実技講座
	28	水	
	29	木	
	30	金	三役会議
4月	31	土	
	1	日	
	2	月	
	3	火	
	4	水	
	5	木	
	6	金	
	7	土	
	8	日	
	9	月	
	10	火	
	11	水	経営委員会
	12	木	
	13	金	理事会
	14	土	
	15	日	
	16	月	労務委員会
	17	火	青年部分科会
18	水	公益・契約事業委員会	
19	木	広報委員会	
20	金	設備保全部会小委員会	
21	土		
22	日		
23	月	KKCビル清掃業務入門コース	
24	火		

おたより紹介コーナー

『おたより紹介』のコーナーへの投稿を募集しています
 ●題材・・・自由。
 協会への提言、季節雑感、詩、短歌、俳句、川柳等々、何でも結構です。
 ●字数・・・15字×16～19行の間に、本文、会社名、筆者名を全て記入して下さい。

KKCお薦め講習会（4月）

平成24年度も、会員企業のニーズに沿った各種講習会をご提案してまいりたいと思います。よろしくお願いたします。平成24年4月実施予定の、KKC主催の講習会は次のとおりです。多数の方のご受講をお待ちしています。定員がございますのでお早めにお申し込み下さい。

●4月新規採用者対象 「ビル清掃業務入門コース」

新人・初心者のクリーンクルーを対象に、ビル清掃作業の基本を1日で学んでいただくコースで、3ヶ月に1回開催しているKKCオリジナルの講習会です。資機材の扱い方からマナー、安全まで清掃作業の基本を、実技を中心としてしっかり身に付けていただくことを目的に実施します。(次回は7月の予定です。)

<対 象> 新人のクリーンクルー、清掃を基礎から学びたい方

<日 時> 平成24年4月23日（月） 午前9時～午後5時

<定 員> 16名

大阪府認定職業訓練「電気設備コース（低圧電気取扱者特別教育併催）」の開講日時が次のとおり決まりましたので、お知らせいたします。開講案内等詳細は決まり次第ご案内いたします。

<日 時> 平成24年5月16日（火）～17日（水） 2日間とも 午前10時～午後5時

申込・問合せ先：一般社団法人関西環境開発センター 教育訓練部

電話：06-6372-9123

FAX：06-6450-8038

E-mail: bmkcc@swan.ocn.ne.jp

「第5回ビルメンこども絵画コンクール」大阪地区入賞作品展示会を開催中です。

全国ビルメンテナンス協会が主催した「第5回ビルメンこども絵画コンクール」の入賞作品展示会を3月28日まで当協会で開催しています。

今回は、「未来のおそうじ ー取りもどそう元気な日本！ きれいな環境、美しい“まち”づくりー」をテーマに募集したところ、全国から10,139作品の応募があり、この展示会では、コンクール入賞作品の中で大阪府下からの応募分72作品を展示しています。毎回のことですが、こどもたちの豊かな創造力に驚かされるとともに、今回はテーマのとおり、私たちに元気を与えてくれるような作品ばかりです。是非ご観覧ください。

1. 日 程 平成24年3月21日（水）から28日（水）まで 10時～16時
2. 会 場 大阪ビルメンテナンス協会 1階展示室
アクセスは → <http://www.obm.or.jp/outline/>
3. 展示作品 厚生労働大臣賞受賞の「かってにおそうじロボット」
(村岸凌青さん・小学1年生)
をはじめ、銀賞7作品、銅賞64作品の合計72作品を展示



編集雑感

高校生の頃、趣味ではじめたエレキギター。25年間弾き続けて今も気のあった友人達とバンド活動をしています。年に2回程度、ライブ活動をしており、ストレス発散と言いますか趣味の世界を楽しんでいます。特にハードロックやヘヴィメタルが大好きで年甲斐もなく激しく演奏しています。

そんな僕にも変化と言いますか、悩ん

でいることがあります。それは『最近、妙にステージがキツくなっている』ことです。

10代、20代の頃は1時間のステージでも「まだまだパフォーマンスしたい」「あと2、3曲演奏したい」とよく思ったのですが、さすがに40代を迎えますと、20分のステージでもしんどく感じられます。喉が渇いてカラカラになったり、汗が止まらなくなったり、演奏中に指がつつてきたり…。これも歳だなんてもの

すごく感じます。

しかし僕には更なる目標がございます。それは、60代、70代を迎えた時に、果たしてエレキギターは弾けるのか？ ステージに立つことが出来るのか？ といったことです。さすがに指の動きは鈍くなるかもしれませんが、髪の毛も薄くなり格好悪くなっているかもしれませんが、生涯ロックギタリストを貫き人生を楽しもうかと思ひます。

(K・F)